



恩師遺稿

山中 順三

Fight it out!
Yamanaka

石坂50年史より

なお、誠に勝手ながら「香典」ご供物、ご供花の儀は固く辞退申し上げます。

八月二十六日

著信拜受

夫(父) 山中順三、さる平成九年六月二十三日、八十七歳の天寿を全ういたしました。私共は故人の言葉に従い、静かにお別れを済ませました。
ここに、生前故人が記しておりましたお礼の言葉をもって、謹んでご挨拶申し上げますとともに、今後ともよろしくご交誼下さいますよう、お願い申し上げます。
平成九年八月

020 岩手県盛岡市大沢川原三丁目 六ノ三ノ八〇一

妻 山中 中
男 山中 閑
女 山中 玲
平井 杏子
順二

先般はご逝去と承知し、お悔しい限りです。お別れが済まされたこと、心よりお慶び申し上げます。ご冥福をお祈りいたします。
山中 順三

只今はくらす会のご招行状と頂き、お心より厚くお礼申し上げます。その上、新幹線、東車券、待合券まで同封をいただき、お心遣い、ほど感謝に堪へません。折角のご配慮ですが、宿病(軽度アトピー)のため、定首から先、痺れが寒期には甚だしく、その上、老人院への北とあり、出席できず、ご迷惑をおかけしては、果せられ、心から、誠に申し訳ありません。誠に身勝手な申し分がござります。承下さい。

尚前四回、誠に記念日は、月々、お礼を頂戴し、諸君と個人でございます。重々、ご謝意を述べさせていただきます。先生方、同席の諸君、ご心遣い、誠にありがとうございます。二日、三日午後

臣 仲

新幹線、東車券、待合券、同封を頂戴し、誠にありがとうございます。

尚、前年より、記念日、誠に、お心遣い、ほど、感謝に堪へません。折角のご配慮ですが、宿病(軽度アトピー)のため、定首から先、痺れが寒期には甚だしく、その上、老人院への北とあり、出席できず、ご迷惑をおかけしては、果せられ、心から、誠に申し訳ありません。誠に身勝手な申し分がござります。承下さい。

小泉 仁右衛門 氏
下河原 善嗣 郎 氏